

漢字カードゲーム（1年生漢字 80 字）

- カルタ取りのときのようにテーブルに広げ、以下の質問から答えになる漢字カードを取り出す。（制限時間を設けたり、点数制にしても良い。）
 - 読み上げた文章に使われている漢字を取り出す。いくつかの漢字があるかをヒントとして言うのも良い。
文章の例) 大雨がふって、かさのない人はびしょぬれになった。天気がよくなったらさんぼする。この犬の口はくさい。竹の子がいっぱい生えている。正しいしせいですわっている男の子。赤いリンゴを食べない白雪姫と七人の小人。
 - 数の漢字
 - 曜日の漢字
- 3漢字作文（3枚引いて即興のお話を書く）
- 無差別に引いていき、読みを言う
- 漢字カードの裏に読みを書き、そちらを表にしてテーブルに広げ、無差別に引いて漢字を書く正しく書ければ自分のカードにできる
- 漢字ビンゴ（漢字リストをホワイトボードに投影し、クラス全員の協力でリストの漢字を全て塗りつぶすのがゴール）生徒が順にカードの山から一枚引き、その字を使った言葉が正しく言えたら、あるいは読み方や意味を言えたら、漢字リストからその該当の字を塗りつぶしていく。言えなければ、また山に戻す。
- 画数じゃんけん（二人がカードを引き画数の多い方が勝ち）
- 読みの数じゃんけん（読みの種類が多い方が勝ち）
- 漢字しりとり（制限時間内に読みを続けていく）
- 字字（ジジ）抜き（一人ずつ待ち札が5枚になるように配る。1ターンずつお題を出した後、まず一回り隣の人から一枚カードを引いて、手持ちのカードがプレイヤー間で常にシャッフルされるようにする。引き終わった後でお題に合うカードを場に出す。出した枚数(お題にはまるものは全て出せる)だけ中央のカードの山から引き自分の持ち札に加える。次のお題を発表し、また同じよう繰り返す。山と手持ちの札が全てなくなるのがゴール。)
お題の例：
 - 漢字二つでできる言葉（二字熟語を作る）
 - ひらがなひとつ付け足したら言葉になる漢字（例、赤い、出る、休む）
 - 画数が○つ
 - ○○より大きいもの/小さいもの（地球より大きい、小指の爪より小さい）
 - 食べられるもの（例、草、貝、虫など。誰が食べるかの制限なし）
 - はじめに『お』をつけて言葉になる漢字（例、お花、お手、お空）
 - 終わりに『い』をつけて言葉になる漢字（例、青い、白い、円い）
 - ○よりも強い漢字*なぜ強い説明させる（場に出ている漢字一つ選ぶ）
 - 長いもの・四角いもの・かたいもの（例、川、田、金）
 - ○○にあるもの（算数の教科書の中、カバンの中、
 - 時刻を書くのに使う字・日付を書くのに使う字（漢数字）
 - 生きているもの（例、犬、森、女）
 - 自分の力で動かないもの（例、山、月、日、水、石、田、空）
 - 音を出すもの（虫、犬、手、足、口）

などなど